

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 6 - 16)

件名	分析ボックス内固体廃棄物搬出時における汚染	
事象の概要 (1) 発生場所: 機器 (2) 発生の状況 (3) 概要	分析建屋: 分析設備 分析ボックスからの固体廃棄物搬出時 分析ボックスからパディラック(固体廃棄物容器)を用いて放射性固体廃棄物の搬出作業を実施していたところ、分析ボックスとパディラックの接合部の汚染が搬出作業により拡散し、作業エリア外及び作業員の衣服へ汚染が拡大 * 他の建屋も含め同種の作業においても同様の事象の発生が予想される。	
事象による影響 (1) 工場外への影響 (2) 安全性への影響 (3) 作業員への影響 (4) 他工程への影響	<p>工場外への影響は生じない。 分析建屋の建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>安全上の問題は生じない。 作業区域内での汚染であるため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>作業員への影響は生じない。 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員の安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>他工程への影響は生じない。 汚染の除去を行うのに時間を要する場合は当該作業が影響を受けるが、他の工程への影響は生じない。</p>	
対応の概要	(1) 作業員については、異常被ばく及び身体汚染のないことを確認する。 (2) 定められた作業手順により汚染を除去する。 (3) 汚染除去後、定められた手順に従い分析ボックスからの廃棄物搬出を再開する。	
公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転系統を切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 放射性物質による汚染、被ばく等 多重防護の劣化 工場外への影響 工場内への影響

